

氏名	荻 野 靖 雄
学位の種類	医 学 博 士
学位授与番号	乙 第 3 9 6 号
学位授与の日付	昭和44年12月31日
学位授与の要件	博士の学位論文提出者 (学位規則第5条第2項該当)
学位論文題目	関節リウマチに対する滑膜熱傷術の研究
論文審査委員	教授 田 中 早 苗    教授 大 藤   真    教授 砂 田 輝 武

#### 学 位 論 文 内 容 の 要 旨

家兎膝関節滑膜は熱傷により表層細胞の剝離および壊死、滑膜下組織の浮腫、壊死、血管の充血、血栓をみた。受傷後21日までに滑膜の再生を認め、56日までに滑膜再生は完成し、滑膜下組織のフィブrosis化も完成した。

難治性の関節水腫をもつ慢性関節リウマチおよび骨関節疾患患者計12名の膝13関節に滑膜熱傷術をおこなった。滑膜熱傷術は約70℃に加温した生理食塩水約150 ccを約15分を要して膝関節に注入、灌流して滑膜に熱傷を起させた。

治療効果は兎玉の局所治療効果評価法で判定して、術後3ヵ月で13例中有効は7例、術後1年では5例であった。

関節鏡を用いて滑膜熱傷術の術前、術中および術後の滑膜を観察し、滑膜表面の清掃、滑膜表層の破壊および剝離、滑膜下血管の充血や出血を認める。

滑膜熱傷術後の組織学的所見で病的滑膜の壊死および剝離、滑膜下組織に浮腫、血栓形成、炎症細胞の浸潤、壊死が認められたが、経過とともに滑膜の再生、浮腫の減少、血栓の器質化、壊死部分のフィブrosis化がみられた。

(昭和44年10月1日、リウマチ、第9巻、第4号に掲載予定)

## 論文審査の結果の要旨

本研究は、慢性関節リウマチにたいし、熱損傷を加えることによって病巣の線維化を促す療法に関する研究であり、初期病巣に対しては、従来の外科的、化学的方法よりもすぐれた成績を示している。関節リウマチ療法の新分野を開拓したすぐれた研究であると認める。

よって本研究者は、医学博士の学位を得る資格があると認める。